

連文

R E N B U N



Vol. **105**
2018.8

- 第1回 連文総合文化部 展覧会
- 第64回 茶道部 大茶会
- 第45回 書道部 書作家展
- 第12回 工芸部 会員作品展
- 第15回 水墨部 会員作品展
- 第20回 短歌部 歌評会
- 第52回 仲縄忌俳句大会

久留米市長就任にあたって
平成30年度定期総会を終えて
青木繁 墓とけしけし祭



久留米市長就任にあたって



久留米市長 大久保勉

本年1月に第20代久留米市長に就任いたしました大久保勉です。就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

久留米連合文化会は、「文化によって地域を復興し、人々が自信と誇りと生きることの喜びを取り戻すことが重要である」という崇高な理念のもと、昭和24年に発足をされて以来、連綿と活動を続けられ、今日まで素晴らしい歴史と実績を積み重ねてこられました。現在、600名を超える会員の皆様、県南地域の文化芸術振興のリーダーとして活躍しておられます。

久留米連合文化会が、このように発展してこられたのも、木村清吾会長をはじめ、歴代の会長、役員の皆様の並々ならぬご努力と、会員の皆様の熱意ある活動の賜物であり、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

さて、本市は古くから交通の要衝とし

て栄え、その長い歴史の中で多彩な地域資源を培ってまいりました。特に文化芸術の分野では、才能あふれる人材を多数輩出しているほか、市民の皆様の活動もたいへん盛んな土地柄です。このような文化芸術の土壌をまちづくりを活かすため、今年度の市政運営方針において「住みやすさ日本一」のまちづくりに向けた施策の柱の1つとして「文化・芸術・スポーツとにぎわいのあるまちづくり」を掲げ、文化芸術の振興にいつそう取り組むこととしております。

また、我が国が本格的な人口減少社会を迎えるなか、本市が今後も広域的な求心力を維持し、持続可能な発展を遂げていくためには、文化芸術振興の拠点となる久留米シティプラザや久留米市美術館を最大限に活用しながら、多様な主体が自らの創造力を十分発揮できるような環境づくりや人材の育成に努め、都市魅力をさらに向上させていくことが必要です。そのような意味からも、久留米連合文化会の活動は、大きな意義を有するものであり、どうか、皆様方には、その先導役としてよりいっそうのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びになります、久留米連合文化会のさらなる発展と、会員の皆様方のご活躍、ご健勝を心より祈念いたします。

平成30年度 定期総会を終えて



平成30年度の連文定期総会が5月26日(土)午前10時より創世にて開催されました。

受賞記念祝賀会

青年部プロデュース。パフォーマンス

同日12時から受賞記念祝賀会が開催され、久留米市功労者・草場宗玲(茶道部)さん、久留米市芸術奨励賞・北嶋季之(洋楽部)さん、みやざき都(邦楽部)さんのお祝の宴が開催されました。イタリア民謡オオソレミオをテノール・北嶋季之さん、ピアノ・稲益初美さんで歌っていただきました。

青年部からはシャットアップアンドダンスを川副礼代奈さん、オーボエ・稲吉恵梨奈さん、デザインが吉崎勇さんで、踊って頂きました。

橋本副市長、佐藤市議会議長をはじめ来賓の方もお祝いに来ていただき、また会員相互の交流もでき和やかな雰囲気、で終了しました。(事務局)



オープニングセレモニーとして、カッチーニ作曲「アベマリア」を歌・田本春香さん、ピアノ・稲益初美さんの演奏で、総会の幕が上がりました。

- 第1号議案 平成29年度久留米連合文化会事業報告並びに決算承認について
- 第2号議案 平成30年度久留米連合文化会事業計画並びに予算案について
- 第3号議案 規約改正案)4件について
- 第4号議案 役員選任案)について

提案・審議がなされ、いずれも原案どおり可決・承認がなされました。また報告事項が7件報告されました。

表彰式では、連文功労賞1名、会員美術展連文会員賞12名、舞台芸術・華道・茶道部門連文会員賞4名、永年30年表彰者7名の方々が表彰されました。

会員相互の交流を盛んに

2020

連文70周年事業

記念誌については発刊せずに連文ホームページ(現在試験運用中)と会報誌に掲載する。記念誌発行は原則50年に1回とする。式典と祝賀会は5月最終土曜の総会・祝賀会にリンクして実施する。記念事業も5月に行い、記念事業等実施体制については企画運営委員会内に式典部会・祝賀会部会・記念事業部会を設けて中身について検討していく。統括は正副会長がする。以上のことを企画運営委員会で現在検討中です。最終的には企画書案を理事会・総会へと図っていくこととなります。(事務局)

連文ホームページ開設

この度、連文のホームページを新たに立ち上げるようになりました。連文では過去に一度、絵に描いた餅のようなホームページで会員からの情報がほとんどアップされないうまま、閉鎖してしまつた苦い経験があります。

芸術文化の世界では、格式や伝統を重んずるあまり、やもすれば閉鎖的になつてしまいがちです。作品個々の著作権の問題もあります。しかしながら、その

ままでは決して発表はありません。特に地方においての文化はますます脆弱になつていくように思えます。

戦後、まだ充分な物資もおぼつかなかった頃それでも文化の創出に尽力された連文の先人は、人は食のみで生きるにあらず、文化こそが社会を形作る規範であり、それは血流に等しいと強く認識されていたのだと思います。

今回の新しいホームページでは、広く連文の活動を公開すると共に、会員相互の交流が盛んになるよう、さまざまなSNSとも連動した能動的なサイト構築を目指しています。互いの垣根を越え、違うジャンルの文化とふれあい、お互いにインスピレーションを得て、お互いに新しい創作の糧とし、また会員個々の活躍の場を広げていくことが目的です。

現在試験運用中ですが、8月中に正式公開させたいと考えています。会員の皆様にはそれぞれの情報アピールなど、ご協力のほどよろしくお願いいたします。す。(広報委員会 ウェブ担当・今村好典)



第45回連文書道部書作家展

3月21日(水)～25日(日)、久留米市美術館で開催。

今年のテーマは、「童謡・唱歌を書く」。今回59名の作家が、様々な書体や大きさに工夫を凝らした作品展示によって、明るさと熱気に満ちていました。又、初めての試みとして、作家の顔写真を貼つたことで、来場者からは「作品と顔写真を照らし合わせながら鑑賞出来て良かった。」とお褒めの言葉を頂きました。(書道部・北村久峰)



第12回連文工芸部会員作品展

今年も、6月5日(火)～10日(日)、えーるピア市民ギャラリーにて開催。来場者は6日間で約300余名の方々にご来場いただきました。昨年に比べて出品数は少ないものの、作品一つ一つのクオリティは非常に高く、ご来場の皆様には大変好評でございました。来年も、より良い作品を皆様に見ていただけるよう、日々精進して参りたいと思います。(工芸部・廣藤圭)



第64回連文茶道部大茶会

4月15日(日)、に久留米シティプラザに於いて開催されました。今年も、大日本茶道学会(和室)・日本礼道小笠原流(中会議室)・裏千家(大会議室)の三流派がお茶席を設けられ、江戸千家(受付)・表千家(白流(案内))と全五流が各々の役割を担当致しました。どのお席も和やかな雰囲気でお茶が振る舞われていました。

大日本茶道学会は、中学生のお嬢様が少し緊張した面持ちでお運びをなさつて



青木繁 墓とけしけし祭

わが国は 筑紫の国や 白日別 母います国 櫛多き国

明治44年(1911)3月25日、満開の桜を待たず、青木繁が亡くなって何年が過ぎたのだろうか。

そして「海の幸」「自画像」をはじめとする作品群が石橋美術館から消えた二度目の喪失。

今年もまた開かれた高良山の奥の兜山でのけしけし祭り。

例年と同じように集い、かっぽ酒を酌み交わし、とっておきの文化を句碑に供え、大いなる挫折と栄光を享受した。

看板に青木繁の句 墓前に立て除幕式

青木繁の看板を立てて欲しい、との要望が遺族からあり、連文で看板を作ることになった。

「青木繁、海の幸、旧市民会館の緞帳」、それ位の知識しか持ち合わせていなかったのが、日吉町、順光寺に在るといいう青木繁の墓を訪ねた。

さぞや立派な墓なのだろうと思っていたので、その質素さには少しばかり驚



古ぼけたアスファルトの耳納スカイラインで歩を進め、彼の業に寄り添い、「小生が苦しみ抜きたる十数年の生涯も、技能も光輝もなく水の泡と消え候も、不幸なる小生が宿世の為劫にてや候ふべき、焼きのこりたる骨灰は序での節、高良山の奥のけしけし山の松樹の根に埋めて被下度」と青木繁が書き残した「骨肉の絆に腸を断つ遺書」に思いを馳せる。



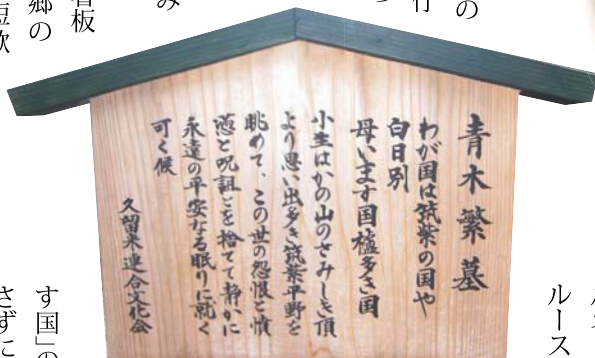
かされてしまった。

山門を潜り墓地の北側にひっそりと佇んでいる墓。供えられた花もなく、にびいろの墓石は苔むして、彫り込まれた文字の影を追いかけて墓碑銘を読み取った。

その傍らに立つ看板である。青木が望郷の念をこめて詠んだ短歌

「わが国は 筑紫の国や 白日別 母います国 櫛多き国」と、死の直前に姉妹に宛てた遺書と思われる手紙の一文「小生はかの山の寂しき頂より思いで多き筑紫平野を眺めて、この世の怨恨と憤懣と呪詛とを捨てて、静かに永遠の平安なる眼りに就く可く候」を連文書道部長北村久峰の書で記した。

そして去る2月27日墓前にて簡単な除幕式を執り行った。西日本新聞社久留米総局長、木村清吾会長、副会長他数名



が参列し、酒を供え青木繁を偲んだ。(平成30年2月28日西日本新聞筑後版に写真と共に掲載)

そののち、かつての「泥の川」のそばの、こじんまりとした飲み屋で新聞記者某氏と酒を交わし、不安げに揺れるポトルネックギターの音に合わせて唄うブルースに聴き惚れた。

「神様にも見放されちゃったし、酒でも飲むしかねえ、他の奴らは上手い事やってるけど、この俺だけが落ちぶれちゃった、町の片隅で小さくなって、一人暮らしてる」

某氏の唄う「シカゴバウンド」を聞きながら、横向きざまに大きく眼を見開き、じろりと睨みつけている青木繁の自画像を思い、福田蘭童の「母います国」の中の歌詞、はじ多き国、を思い出すにはいられなかった。(広報委員会)



青木繁「自画像」1903年、油彩・カンヴァス、ブリチストン美術館所蔵

第65回けしけし祭 青木繁を偲んで

平成30年3月25日(日)11時、青木画伯の命日午前11時200名の人々が、かぶと山の山頂に集い青木繁画伯を偲びました。

オープニングセレモニーはメンデルスゾーン作曲「春の歌」ヴァイオリン連文洋楽部国武紀子さんの演奏に合わせて、連文総合文化部門の中川勝詔さんの絵と書のパフォーマンスがあり皆魅了されました。

献酒(教育長等)、祭文(教育長)の後山本小学校3年生による青木繁研究発表と「母います国」の合唱が、ヴァイオリン連文洋楽部国武紀子さんの伴奏でありました。



連文会員による献花・献茶・献書・献句・献歌も行われました。

- 〔献花〕 生津春代 (華道部)
- 〔献茶〕 有吉宗夏 (茶道部)
- 〔献書〕 濱田葉子 (書道部)
- 〔献句〕 吉田いずみ(俳句部)
- 三月と聞けばこころに繁の忌 野口桂子
- 繁忌を修す春めく風の中 黒田充女
- 繁忌や人々集ふ春の山 大坪久美枝
- 〔献句〕 林田峰人 (川柳部)
- 瞬いて夜明けを告げるロマンの灯 峰人
- 満山の萌えけしけしの句碑奉る 千秋
- 〔献歌〕 堀江英毅 (短歌部)
- けしけしの山はなつかしはろばろと 堀江英毅
- 繁の影も筑紫平野も 堀江英毅



青木繁旧居

旧居の管理運営は、ボランティア活動を基本とした青木繁旧居保存会の皆さんが行っています。市民の貴重な文化財を守り活用するため連文も協力しています。

青木旧居開館15周年記念 華道展

草月流万年青会中野松芳社中

3月24日(土)・25日(日)に旧居にて開催。青木繁画伯を偲んで。作者17名の思いが、一輪の花、一本の枝にこめられた一作一作の個性を引き立たせる展示会になりました。最適な時期、気候、空間で最高な作品が生まれました。県外からのご来場の方も毎年が増し、本当に感謝しております。喜んで頂く気持ち、を大事に思い生花と向き合っています。



(華道部・中野松芳)

青木繁生誕茶会

江戸千家久留米不白会

旧居に於いて例年7月の生誕前後に行ってりましたが、近年の猛暑で一ヶ月早い6月3日(日)に江戸千家で茶会を開催いたしました。保存会の方々の御協力、み、一服のお茶で話が弾み、お客様に毎年楽しみにしていますと伺い感謝でございます。



(茶道部・有吉宗夏)

第17回ジュニア青木繁展

久留米市に生まれた青木繁は、若干17歳にして青雲の志をたて、芸術の道を極めるため単身上京した。浪漫主義の絵画を開花させ、我が国洋画界の鬼才と評され、歴史に残る活躍をしました。

久留米連合文化会では、青木繁の画業を顕彰するとともに次代を担う若者(小・中・高の学生を対象)に、芸術の清

次代へ向けて

新たな感動を体験させ、文化を育成していく心情を育てる場として毎年ジュニア青木展を開催しています。

作品募集

〔搬入日〕12/17(月)〜21(金)

〔搬入場所〕連文事務局

※詳しくは連文事務局にお問合せください。

第45回久留米謡曲連盟謡曲大会

1月28日(日)、9時30分～17時、久留米シテイプラザ3階久留米座能舞台に於いて開催いたしました。

久留米謡曲五流
(金春、観世、喜多、梅若、宝生)
出演者
130名参加
素謡24番
仕舞13番
入場者250名
(謡曲部・上野晃宏)

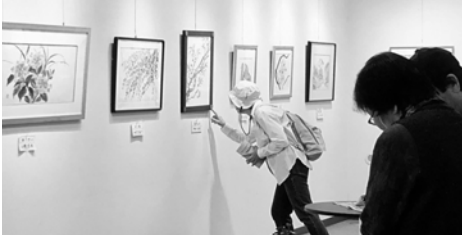


連文水墨画部展

15周年記念

5月8日(火)～13日(日)、久留米一番街多目的ギャラリーで、水墨画展15周年記念を、展示しました。

多くの方に鑑賞して頂き、これを機に、部員一同より深く水墨画の追求をしていく所存です。
(水墨画部・古賀利恵)



第20回短歌部歌評会

4月1日(日)、「久留米歌壇」第34集発行。5月27日(日)、石橋文化会館小ホールにて、久留米短歌大会開催。参加者約150人。県内外より440首の投稿があり、新進歌人染野太郎氏の講演も好評でした。

7月14日(土)、短歌部員による最近の作一首提出による歌評会をえるピア久留米にて開催。出席者16名。選者2名及び互選による結果は、次のとおりです。

大津留敬選

一位 帰去来の詩碑のかたはら 枸橘かたはらのうすき 緑の棘やはらかに 白石厚子
二位 海辺より屋久島見ればそり立つ 断崖の上山塊迫る 宮澤真由美
三位 柳川の掘割のうへ 青鷺もおしどりも 居り物怖じもせず 石橋美津子

藤吉宏子選

一位 夜明け前休耕田の揚げ雲雀しげき 囀り天をつきぬく 大津留悦子
二位 夏つばき咲けば 顕ちくる友の影一 日花の白の清らに 名島ミヤ子
三位 帰去来の詩碑のかたはら 枸橘かたはらのうすき 緑の棘やはらかに 白石厚子

互選

一位 帰去来の詩碑のかたはら 枸橘かたはらのうすき 緑の棘やはらかに 白石厚子
二位 夏つばき咲けば 顕ちくる友の影一 日花の白の清らに 名島ミヤ子
二位 海辺より屋久島見ればそり立つ 断崖の上山塊迫る 宮澤真由美
(短歌部・堀江英毅)

第7回茶を楽しむ会

(江戸千家久留米不白会) 坂本繁二郎旧居において3月25日(日)茶会を開催いたしました。

あいにくけしけし祭と同じ日になってしまいました。お天気が良くお客様特に小さな子供さん方もたくさん参加されてお茶を楽しんでいただきました。有意義な一日でした
(茶道部・森田宗尚)



水道週間ふれあいフェア呈茶席

(日本礼道小笠原流久留米支部)

6月3日(日)、久留米百年公園多目的広場にて久留米企業局上下水道部とお呈茶しました。水は「くるめの銘水・放光寺・筑後川のめぐみ」のペットかん。お茶は八女茶。「こんなにおいしいお茶にいただいたのは、初めてです。」と嬉しいお声掛けをいただいで、暑さの中、ひと風の涼風の吹いた一日でした。ありがとうございました。
(茶道部・北川陽泉)



第26回西日本華道連盟

久留米支部いけばな展

5月16日(水)～21日(月)、久留米岩田屋に於いて開催。五流派によるこの華道展は2年毎に開催されます。伝統的、前衛的な作品がいりまじり、互いに引き立て、刺激し合い、研鑽を積み、次回作の糧とします。

新種の花材には、ご来場の方も興味をもって頂き、熱心に見たり聞いたりされたり様子には印象的でした。次回も大勢の方に満足頂ける作品を展示したいと思っております。
(華道部・中野松芳)



全国総本宮水天宮春大祭 献茶並びに野点

(表千家不白流九州支部)

水天宮の献茶は、永年 表千家不白流がご奉仕させて頂いております。今年も5月3日(祝)に行われました。野点席も多くの参拝客で賑わいました。お抹茶とお菓子は初めての子供さんも、ご家族と一緒に、とても、美味しいと言って喜ばれました。毎年野点席におみえの方もいらっしやいまして楽しんで頂いております。大勢の参拝者の皆様に感謝します。
(茶道部・堤宗覚)

(茶道部・堤宗覚)

第1回連文総合文化部門展覧会

「暮らしの中の書・絵・かすり展」

5月16日(水)～20日(日)、久留米市美術館一階ギャラリーにて、開催しました。会員44名の書・書画・緋など約百二十点を展示しました。総合文化部門は、「文化の多様性に対応した体制を確立する。」という運営方針のもと、2013年に発足した部門です。今年度部員が57名に増え、展覧会や講演会を計画しました。隣の会場では、日本画部の福永英子先生の個展「50歳からの挑戦」も併催されており、また石橋文化センターでは「バラ展」の開催と相まって、連日多くの入館者が訪れて賑わいました。入館者は五日間で2237名でした。鑑賞された方からは「心が和みました。」「肩肘張らずにゆっくり見ることができました。」「言葉と書、絵がマッチしていて、緋の展示もあり、生活の中の文化を実感することができました。」「などの感想をいただきました。

(国際交流文化部・諸石祥雲)



連文総合文化部門 文化講演会

ふるさとの文学碑と拓本の話

総合文化部門の今年度一回目の文化講演会を、6月9日(土)、サンライフ久留

米で開催しました。今回は、大石實先生を講師にむかえて「ふるさとの文学碑と拓本の話」の講演をしていただきました。大石先生が文学碑調査のきっかけになったのは、宝満山八合目の芭蕉句碑を授業で取り上げたことだったそうです。その調査に正確さを期すため、拓本を取ることにしたそうです。その文学碑調査をまとめて「福岡県の文学碑 古典編」「近・現代編」と二冊の本を出版されました。川柳部や短歌部の連文会員の参加もあり、参加者からは、「何もわからない私にも、良くわかるような話でした。各地に建立されている碑を見る目が違うように思えます。」「それぞれ碑にもいろいろなエピソードがあり、面白く聞くことができました。」「などの感想をいただきました。

(国際交流文化部・諸石祥雲)



第20回フジタバレエ研究生発表会

7月22日(日)、石橋文化ホールで開催。本日の研究生発表会では、研究生たちが日々のお稽古で学んだことを、踊りの中で表現できたと思います。

幼児科クラスでは、幼い子ども達が発する踊る喜びと、思わず微笑みがこぼれる姿をご覧いただきました。

ジュニアクラスの舞台からは、お友達との調和や規律の中から「自分」を見出し、皆と一緒に踊れる喜びが見えてくると思います。



ハイクラスになれば、「バレエ道」として長く続く自分の一本の道の中に、自分の立ち位置を確かめながら歩いている姿が見えてくることでしょう。彼女たちは「礼節・謙虚・感謝」の心を持ってバレエや学業に向き合っています。フジタバレエ研究所に通いながら身につけたものを、これから続く人生の中で更に磨き、高めてほしいと願います。

私たちは誰もが「公」の中で生きていくと思います。踊りが好きなだけなら、誰もいない所で独り踊れば済む話です。皆と作品を創りたい、できれば大勢のお客様にご覧頂きたい、そう思ったら既に「公」の行いとなるのです。そのことを感謝と共に自覚しながら、研究生が情豊かに踊り、ご覧下さる皆様の心が和らいだのではないかと思います。また、今回演奏して下さった弦楽アンサンブルの方々の美しい音色は、その研究生たちの踊りに彩りを添えてくれたと思います。

(洋舞部・藤田美知子)

第52回仲縄忌俳句大会

6月27日(水)、遍照院で、高山彦九郎先生226回忌法要がありました。法要の後、えーるピア久留米にて、俳句大会を行いました。選者3名の特選句(◎)佳作句は次の通りです。

黒田充女選

◎ 仲縄忌梅雨の晴れ間を授かりし

谷川 章子

◎ 仲縄忌梅雨の音墓前祭

田川ひとみ

◎ 蚊を逃がすことも以白忌なればこそ

大坪久美枝

◎ 万緑や動じぬ志士の一忌日

野口 桂子

◎ 万緑や動じぬ志士の一忌日

野口 桂子

◎ 万緑や動じぬ志士の一忌日

野口 桂子

◎ 青嵐脚踏ん張って立つテント

野口 桂子

◎ 青嵐脚踏ん張って立つテント

野口 桂子

◎ 青嵐脚踏ん張って立つテント

野口 桂子

◎ 青嵐脚踏ん張って立つテント

野口 桂子

◎ 青嵐脚踏ん張って立つテント

野口 桂子

◎ 青嵐脚踏ん張って立つテント

野口 桂子

◎ 青嵐脚踏ん張って立つテント

野口 桂子

◎ 青嵐脚踏ん張って立つテント

野口 桂子

◎ 青嵐脚踏ん張って立つテント

野口 桂子

◎ 青嵐脚踏ん張って立つテント

野口 桂子

お詫びと訂正



洋画「窓辺」佐藤 小枝子 (久留米市)

会報104号4ページの会員美術展会員賞のタイトル「マイライフ」は誤りであり正しくは、「窓辺」佐藤小枝子(久留米市)です。関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

平成30年 1月～7月

文推協ニューイヤークンサート	1/8(月)・葎香園ホテル
久留米喜秀会演能公演	1/14(日)・久留米シティプラザ久留米座
華麗なるバロック・フルートとバリトンの調べ	1/19(金)・日本福音ルーテル久留米教会
連文役員新年会	1/27(土)・ホテルマリタール創世
第45回久留米謡曲連盟謡曲大会	1/28(日)・久留米シティプラザ久留米座
第46回西日本新聞TNC文化サークル芸能祭	3/4(日)・石橋文化ホール
第37回(心象会展)大石紫光とそのグループ・水墨画	3/13(火)～18(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
第45回連文書道部書作家展	3/21(水)～25(日)・久留米市美術館1階
青木繁旧居開館15周年記念華道展(華月流/年寄会/中野松芳社)	3/24(土)～25(日)・青木繁旧居
第65回けしけし祭	3/25(日)・順光寺・かふと山
第7回茶を楽しむ会(江戸千家久留米不白会)	3/25(日)・坂本繁二郎生家
久留米歌壇第34集発行	4/1(日)発行
篠山神社大祭献茶(江戸千家久留米不白会)	4/3(火)・篠山神社
玉垂宮献茶(表千家不白流九州支部(野忌))	4/8(日)・玉垂宮
第64回連文茶道部大茶会	4/15(日)・久留米シティプラザ
佐藤小枝子展	4/25(水)～30(月)・久留米市一番街多目的ギャラリー
高良大社昭和祭献茶(江戸千家久留米不白会)	4/29(日)・高良大社
久留米文学第65号発行	5/1(火)発行
水天宮献茶(表千家不白流九州支部(野忌))	5/3(祝)・水天宮
久留米児童合唱団第47回定期演奏会	5/4(祝)・石橋文化ホール
連文水墨画部展15周年記念	5/8(火)～13(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
第31回大日本茶道学会福岡地区研修会	5/13(日)・大濠公園日本庭園
第26回西日本華道連盟久留米支部いけばな展	5/16(水)～21(月)・久留米市岩田屋新館4階
福永英子日本画展	5/16(水)～20(日)・久留米市美術館1階
第1回総合文化部門展覧会	5/16(水)～20(日)・久留米市美術館1階
前仙翁会長追善茶会(大日本茶道学会)	5/20(日)・国分寺
平成30年度連文定期総会・祝賀会	5/26(土)・ホテルマリタール創世
第54回久留米短歌大会	5/27(日)・石橋文化会館小ホール
水道週間ふれあいフェア(呈茶席/日本礼道小笠原流)	6/3(日)・百年公園
青木繁生誕茶会(江戸千家久留米不白会)	6/3(日)・青木繁旧居
元谷京子書作展	6/4(月)～29(金)・筑邦銀行本店ロビー
第12回工芸部会員作品展	6/5(火)～10(日)・えーるピア久留米
ふるさとの文字碑と拓本のはなし	6/9(土)・サンライフ久留米
学校茶道合同茶会(裏千家淡交会久留米支部)	6/10(日)・くるめりあ六ツ門
第1回祥雲習作展(申骨文・金文の世界を楽しむ)	6/12(火)～17(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
第52回仲繩忌俳句大会	6/27(水)・遍照院(えーるピア久留米)
仲繩忌供茶(裏千家淡交会久留米支部)	6/27(水)・遍照院
第20回短歌部評会	7/14(土)・えーるピア久留米
第20回研究生発表会(フジタバレエ研究所)	7/22(日)・石橋文化ホール

平成30年 8月～12月

第47回水の祭典久留米まつり(総おとり参加)	8/4(土)・明治通り歩行者天国
水天宮献茶(表千家不白流九州支部(野忌))	8/6(月)・水天宮
久留米番傘川柳会創立60周年記念大会	9/2(日)・ホテルニュープラザ久留米
諸石祥雲書作展	9/3(月)～28(金)・筑邦銀行本店ロビー
第38回連文会員華道展	9/5(水)～9/10(月)・岩田屋久留米店新館4階
久留米吟詠道連盟第59回吟剣詩舞道大会	9/9(日)・石橋文化センター共同ホール
第67回久留米市総合美術展作品募集	9/15(土)～14(金)・搬入場所久留米市美術館
書聖中林梧竹の書について	9/15(土)・サンライフ久留米
「ソール・エブラタン」福岡第18回自芸会演劇ライブvol.18	9/17(祝)・日本福音ルーテル久留米教会
第1回創元会福岡・佐賀支部合同展及び	9/19(水)～23(日)・久留米市美術館1階
第38回創元会西日本美術展	9/27(火)～10/2(日)・福岡市美術館
70周年記念創元展巡回展福岡展	9/29(土)・篠山神社
篠山神社大祭献茶(江戸千家久留米不白会)	9/30(日)・久留米シティプラザ久留米座
久留米連文文化会 日本舞踊勉強会	9/30(日)・南部浄化センター
第22回下水道フェア(呈茶/大日本茶道学会)	10/7(日)・石橋文化センター共同ホール
第54回久留米三曲協会定期演奏会	10/3(水)～21(日)・久留米市美術館1階
第67回久留米市総合美術展	10/3(水)～21(日)・久留米市美術館1階
第47回連文会員美術展	10/10(水)・高良大社
高良大社献茶(表千家不白流九州支部(野忌))	10/14(土)・日吉神社
日吉神社観月茶会(裏千家淡交会久留米支部)	10/14(土)・日吉神社
Dance Show Case2018(スタジオD.D.ショータイム)	10/14(日)・石橋文化ホール
第16回木村フォトセミナー写真展	10/17(水)～21(日)・えーるピア久留米市民ギャラリー
第30回南祥会書作家展	10/30(火)～11/4(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
ジュニア文芸大会(表彰式)	11/4(日)・市役所くるみホール
連文写真部会員展	11/7(水)～11(日)・久留米市美術館
日吉神社献茶(表千家不白流九州支部(野忌))	11/11(日)・日吉神社
第72回久留米茶道連文会法要大茶会	11/11(日)・梅林寺
第65回桃青忌俳句大会	11/18(日)・御井町コミュニティセンター
第25回賢順記念全国箏曲祭	12/2(日)・石橋文化ホール
第9回JDCカンパニーズダンス発表会	12/2(日)・久留米シティプラザ久留米座
裏千家淡交会久留米支部第65回歳末助け合い茶会	12/2(日)・久留米シティプラザ和室他
第17回ジュニア青木展作品募集	12/12(日)～17(月)～21(金)・搬入場所連文事務局
邪馬台国全国大会	12/22(土)・久留米シティプラザ久留米座
青木繁旧居生け花展示(華月流/年寄会/中野松芳社)	通年・青木繁旧居
JR久留米駅生け花展示(小原流/華月流/嵯峨御流/毎週交代)	通年・JR久留米駅構内

訃報 平成30年1月～7月 謹んでご冥福をお祈り致します。
結城翠泉さん(カヨ子) (茶道部) 平成30年4月1日